



千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

96.1.10 No. 4323

がんばる 1.17集まり 被災地の仲間に参加しよう!!

震災から

一年

六千人をこえる人々の命を奪い、二〇万をこえる家屋の倒壊をもたらした阪神大震災。あれから一年、「復興」のかけ声とは裏腹に、被災地には再び、厳しい冬がおとずれています。

震災で肉親を失い、家や職場を失いながら、歯をくいしばって頑張ってきた被災者たちは、いま深刻な就職難にあります。被災地の失業者は十万人をこえるといわれ、失業給付の期限切れによって、約三万人が無収入になるといいます。中高年労働者、とくに四十五才以上ではほとんど求人がありません。

昨年の十一月十七日現在、神戸市によると、神戸市の待機所十二カ所、四三六六人、旧避難所五八カ所九一八八人、計一、三五四人が避難所生活をしています。

被災地の

現実

兵庫県内の震災死者は昨年十一月十六日現在、追加認定の「震災関連死」を含め六、二四九人、行方不明二人。県内の仮設住宅で独居老人が死亡したケースは約三〇件。自殺もあいつぐ

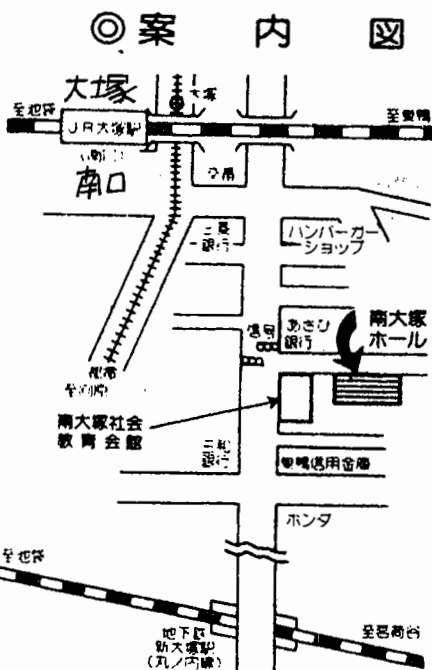
状況となっております。冬の厳しい寒さにもかかわらず、電気代が払えず、電気コタツも使用できず、いまなおテント生活を余儀なくされ、光さえ街灯をたよりに生活している被災者もいるのが現実です。

十六兆円という巨額の「復興」予算がたてられても、失業者対策は皆無に等しく、行政は被災者に向かつて、失業者対策は行なわないと断言しています。そして、雇用保険給付切れ後、唯一といえる給付制度である「中高年齢失業者等求職手帳」の発給申請に対しても、行政は拒否しつづけています。

がんばる、 被災労働者

1月17日(水)午後6時開場 豊島区立南大塚ホール

- ◆とき/ 1月17日(水) 午後6時開場
- ◆ところ/ 豊島区立南大塚ホール
- ◆主催/ 被災支援連
- ◆報告/ 被災地雇用と生活要求者組合 関西合同労組兵庫支部 他



こうした中で、被災地労働者は、生きるための必死のたたかいにたちあがっています。神戸職安に中高年求職者手帳の集団申請を行い、「一・五」の大失業を撃つ全国労働者集会」に大挙結集して、翌六日には労働省交渉を行いました。被災失業者たちは、行政の姿勢を改めさせるまで、あくまで団結して闘う決意を固めています。そして、大失業時代とたたかう全国の労働者との連帯と支援をもとめています。

大失業を撃つ

被災地の労働者のたたかいは、大失業時代におけるすべての労働者の「生きる権利」「働く権利」をかけたたたかいです。全国の労働者の力で、このたたかいを支え、勝利させようではありませんか。

1.13(土) / 旗ひらき / 13日、福祉セク